

2015 年度事業報告

「食べ物をたいせつにし、互いを支えあう社会をつくりたい」との思いを持って取り組んで4年。

2015年4月に堺市で初となる認定NPO法人に認可され、ふーどばんく OSAKA が注目された1年でした。

1. 食品提供サービス事業

- ① 社会福祉法人が運営する児童養護施設、母子寮、障がい者・児支援施設、特別養護老人ホームなどへの配送が多くなりましたが、活動を重ねていくとDVシェルター、ホームレス支援団体、外国人支援団体、刑余者支援団体、小規模作業所、キリスト教系施設など、小規模で公的な支援を受けることのできない団体・施設から、口コミやホームページ、TV 放映をみての問い合わせで、食品提供が実現しました。
- ② 4月に「生活困窮者自立支援法」が施行されるにあたり各市町村に「生活困窮者自立支援相談窓口」が設置され、相談窓口と協定を結び、今日食べるものがないなどの相談者へ、食品提供をおこないました。
- ③ 結果、食材提供サービス事業は119団体(施設)に行うこととなりました。

2. 余剰食材回収サービス事業

- ① 余剰食材回収サービス事業は、126の団体・個人から、59トンの食品の提供をうけました。
今年度も、大型量販店より、パン・果物・野菜を、32トンの提供を受け、あわせて92トンの食品の提供をうけました。
1kgあたり600円の評価額とすると55,200,000円分の食品をとどけたことになります。
3年目は、企業や個人からの定期的な食品の提供が増えました。特に個人の方からの食品提供が前年度に比べ飛躍的に増加しました。また引き続き友好団体であるセカンドハーベスト名古屋やフードバンク関西・セカンドハーベストジャパンからも食品のシェアをうけたことによって、結果上記の量と金額の活動を行うことができました。
- ② イベントなどにおいてフードドライブを実施しました。多くの個人からの食品提供を受けることができました。

3. 会員とボランティア

- ① 2015年度の会員は、正会員20名でした。賛助会員2名でした。
- ② 2015年度の新たなボランティア登録は12名でした。

4. 広報活動

- ① 2015年9月にホームページをリニューアルしました。
- ② 『ふーどばんく OSAKA 通信』第4号発行、関係団体や施設・企業などに配布しました。
- ③ 大学生のフードバンクレポートや卒業論文作成に協力しました。
- ④ 泉北生協の「街づくり夢基金」の助成を活用し、2015年11月に新たなパンフレットを作成し、関係団体や施設・企業などに配布しました。
- ⑤ 11月にはAIAIフェスタへ、4度目の参加をおこないました。AIAIフェスタではパネル展示とフードドライブを実施しました。
- ⑥ 独立行政法人福祉医療機構(WAM)の社会福祉振興助成をうけ、3月19日、3月26日の2週にわたり、大阪市旭区と茨木市で「ふーどばんくアクション申」を開催しました。

5. その他

- ① 堺市で認可第1号となる「認定NPO法人」となりました。
- ② 他のフードバンク団体との交流を行いました。食品のシェアだけでなく、互いのイベントへの参加、情報交換会を実施しました。
- ③ セカンドハーベスト名古屋主催の生活困窮者自立支援相談窓口との取り組みについてのシンポジウムに参加しました。
- ④ 独立行政法人福祉医療機構の社会福祉振興助成をうけ、大阪市・北摂・河内・泉州・守口の5ヶ所に新たなふーどばんく OSAKA のサテライト（拠点）を設置しました。
- ④ 事務局体制・ボランティアの充実に取り組みました。